発行 医療法人 蒼龍会 武蔵嵐山病院

ほほえみ

No. 88
SPRING／2026

https://www.ranzan-hp.or.jp/
〒355-0077 埼玉県東松山市上唐子1312-1　TEL 0493(81)7700　FAX 0493(81)6776

ごあいさつ



武蔵嵐山病院　病院長
高野　仁司

日頃より当院の医療活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。地域の皆さまに支えられ、私たちは日々の診療を続けることができています。

近年、医療の世界は大きな転換点を迎えています。人工知能（AI）技術の進歩は目覚ましく、診断支援や画像解析、業務効率化など、医療現場のあらゆる領域に導入が進んでいます。これからの医療は、AIを活用することが当たり前となり、医療者の働き方も大きく変わっていくでしょう。しかし、私はそのような時代だからこそ、医療者に求められる本質は「人間性」であると強く感じています。

AIは膨大なデータを瞬時に処理し、最適な選択肢を提示することができますが、患者さんの不安に寄り添い、言葉にならない思いを受け止めることはできません。治療の選択に迷う患者さんの表情の揺らぎに気づき、人生の背景を踏まえて一緒に考えること――それは人間にしかできない営みです。医療が高度化し、効率化が進むほど、むしろ「人として向き合う力」が医療者に求められる時代が訪れています。

そのため当院では、患者さんと医療者のコミュニケーションを何より大切にする病院づくりを進めています。丁寧に話を伺い、患者さんの価値観を尊重しながら治療方針を決めていく姿勢は、AI時代においても決して揺らぐことのない医療の基盤です。AIはあくまで医療を支える道具であり、患者さんの人生に寄り添う主体は、これからも人であり続けます。

また、地域医療を支えるためには、近隣の医療機関・介護施設の皆さまとの連携が欠かせません。専門的な治療や検査が必要な際には、どうか当院へ患者さんをご紹介いただければ幸いです。地域全体で患者さんを支える「顔の見える連携」をさらに強め、安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。

AIが進化する時代だからこそ、人の温かさがより一層求められる――その思いを胸に、職員一同、これからも誠実な医療を提供してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新年度を迎えて



— Mayumi Koike —

看護部長　小池　真弓

私たち看護部は「患者さんの安心と安全を守り心に寄り添うケアを提供します」を理念に掲げ、「ここへ来てよかった」と感じられる地域医療への貢献を目指しています。

新年度は、さまざまな医療現場を経験してきた仲間達を迎え益々、当院の果たす役割も大きく期待できると思っています。

当院の強みとして多様に特化した専門分野があり、その専門性を活かしたチーム活動にも力を注いでいます。糖尿病支援チームによる糖尿病教室、フットケア外来、排尿自立支援チームによる介護教室など地域の皆様に向けた取り組みも増えてきました。健診センター部門にも看護師を配置し、「予防・早期発見・早期治療」と健康維持に向けた保健指導にも注力しております。この特性を活かし職員が自信を持って活躍ができ、地域活動にも参画できる場を支援していきたいと思います。

6月には診療報酬改定もあり、社会情勢や医療技術の変化に合わせて医療サービスの向上はもちろんのこと質の向上を問うことが多く求められるようになりました。これからは医療の質の向上と業務分担の軽減を両立させることが課題と言えます。業務効率化（医療DXの導入）を図り看護・介護職の負担を軽減させると共に患者さんに寄り添う時間が増えることを期待したいと思います。今年度は病院機能評価の受審も控えています。看護部は一丸となって継続的に質改善に取り組むこと、そして地域の皆様や患者さんに信頼される病院作りができるよう合格を目指していきます。

褥瘡（じょくそう）対策チームの活動紹介



【褥瘡対策チームの目的】

褥瘡（じょくそう）は、一般的には「床ずれ」と呼ばれています。治療上ベッド上安静が必要な方や自力で寝返りができない場合、特に骨が突き出ている臀部や踵などに長時間自分の体重による圧迫がかかることによって、その部位の血のめぐりが滞ることで生じる傷の事を指します。

褥瘡対策チームは、入院時に褥瘡のある方、入院後に発生してしまった方、またその危険性がある方や、皮膚のトラブルのある方のもとへ伺い、診察を通して褥瘡の原因を見極め、予防の方法や発生してしまった褥瘡の処置の方法を検討し治癒または軽減に努めています。早期に介入して、適切なケア・治療が行われる体勢をつくり環境を整えていくことを目的としています。メンバーは選任の医師、特定看護師を中心とした各階の看護師、介護士、理学療法士、薬剤師、栄養士と様々な職種が参加しています。

【主な活動】

①褥瘡回診

当院では週1回のチームで褥瘡回診を行い、入院患者さんの褥瘡に関する問題について、病棟スタッフと共に話し合い、最善のケアができるようにアドバイス・指導を行っています。

②褥瘡対策会議

各月で活動報告や回診の状況、研修会の参加報告などを行っています。

③勉強会の開催

外部の勉強会の情報共有や、褥瘡に関する院内の勉強会を開催しています。また、10月20日は『褥瘡（床ずれ）予防の日』であるため、毎年褥瘡や皮膚創傷に関連したイベントを開催しています。マットレスの選定やクッションの使用方法、軟膏や保護剤の紹介、栄養補助食品の試食、実際に模型を使用し褥瘡の洗浄の方法の実践を行い、職員へ正しい知識と予防ケアの推進にむけ取組んでいます。

高齢化社会の日本において褥瘡患者さんは増加し、褥瘡予防、治療、管理の重要性が高まっています。褥瘡をはじめとするスキントラブルは、大きな経済的負担になるとともに患者さんの身体的、精神的な苦痛を大きくなります。褥瘡の予防・治療のためには患者さん全体を見る必要があり、褥瘡対策チームの担う役割は大きいと考えます。今後も患者さんにとってより良いケアにつながるよう活動していきたいと思います。







2025年 嵐山祭り参加



2025年11月2日（日）国立女性教育会館で開催された「嵐山祭り」に武蔵嵐山病院として、看護師5名・事務員2名の合計7名で今年も参加しました。

当日は晴天に恵まれ、沢山の方にお越しいただきました。今年は前年同様の「血圧測定」・「フットケア（足の相談・爪切りの実施）」・「医療相談」に加えて、新たな試みとして「体内年齢測定」を行いました。体内年齢測定は体組成計を利用します。身長・年齢・性別を登録し、体組成計に乗って頂くことで「①体重」「②BMI」「③体脂肪率」「④筋肉量」「⑤内臓脂肪レベル」「⑥脚点（体重に占める脚の筋肉量の割合を点数で表示したもの）」「⑦基礎代謝量」「⑧体内年齢」が測定できます。測定した値を基に看護師がアドバイスを行いました。実年齢より若い年齢が測定されると参加者からは喜びの声を聞くこともできました。体内年齢測定は待機列が発生するほど大好評でした。

また、来訪者には当院で実施している糖尿病教室などの催しも案内しました。

後日開催された糖尿病教室には、嵐山祭りがきっかけとなり参加して下さった方もいました。今年も嵐山祭りに参加することで地域の方に当院を知って頂く貴重な機会となりました。













ヴァイオリンコンサート開催

2025年12月5日、4階病棟にてヴァイオリンコンサートが開催されました。当日は入院中の患者さんやご家族、病院スタッフが会場に集まり、病棟の一角が音楽を楽しむ場となりました。普段の病棟とは少し違った雰囲気の中で、参加者はヴァイオリンの生演奏に耳を傾け、穏やかなひとときを共有しました。

当日は、「荒城の月」「きよしこの夜」「上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」「What a Wonderful World」「リベルタンゴ」「愛燦燦」など、世代を問わず親しまれている楽曲が演奏されました。クラシックからポピュラー音楽まで幅広い曲目が披露され、会場はやさしい音色に包まれました。

演奏が始まると、会場には自然と笑顔が広がり、曲に合わせて口ずさんだり、リズムに合わせて手拍子を送ったりする様子が見られました。美しいヴァイオリンの音色が病棟に広がり、会場全体が音楽の楽しさに包まれている様子が印象的でした。

病院での生活は時に緊張や不安を伴いますが、音楽を通して穏やかな時間を共有できたことは、患者さんにとってもスタッフにとっても貴重な機会となりました。今後もこのような取り組みを通じて、患者さんが少しでも安らぎや楽しみを感じられる環境づくりを大切にしていきたいと思います。

冬野菜収穫！

回復期リハビリテーション病棟
師長　瀬尾　正美

回復期リハビリテーション病棟では2023年から園芸療法の一環として野菜の苗植えを始めました。園芸療法は、植物の栽培や鑑賞を通して身体・精神・社会的なリハビリを行う手法です。土に触れる、水をやる、収穫するなどの一連の作業が、身体機能や認知機能を向上させ五感や手先を使うことで良い刺激になります。また、季節感や達成感で脳の活性化につながり、ストレス軽減や精神安定を促進すると言われています。

今回、冬野菜の苗植えは昨年の１０月に病棟のテラスで行いました。大根・スナップエンドウ・ラディッシュ・キャベツ・イチゴの5種類の苗の植え付け、種蒔きをしました。農家の方や家庭菜園を行っていた患者さんがたくさんいて、苗植え初心者の私にみなさん色々教えてくれました。天気のいい青空の下での作業は気持ちがよく、久しぶりに土に触れることで、みなさんとても生き生きとした表情で作業を行っていました。普段話をしたことのない患者さん同士も自然とコミュニケーションを取りながら協力して作業を行う姿に心温まりました。

患者さんは野菜の成長を楽しみにしていて、毎日リハビリ終わりなどにテラスへ野菜を見に来てくれます。離床を拒む方も「野菜を見に行きませんか？」と誘うと一緒に野菜を見に行ってくれます。中には水やりを行う方もいてみなさん野菜の成長を楽しみにしているのが伝わってきます。

１月上旬に冬野菜の初収穫を行いました。初収穫の野菜はプランターで育てた「かわいい大根」です。苗植えをした時の患者さんは退院されてしまった方もいましたが、自分たちで植えた大根を収穫すると品種のとおりかわいい大根でした。患者さんに収穫してもらった大根は小さくカットして患者さんたちと一緒に試食しましたが、辛みが少なく甘みのある大根でした。スナップエンドウとイチゴはこれからの収穫なので毎日患者さんと一緒に野菜の成長を楽しみにしています。

私自身、初めての苗植えでしたが園芸療法がこんなにも患者さんの活力になるのだと実感しました。５月には夏野菜の苗植えを行う予定です。今からどの野菜を植えようか楽しみです。







キッチンカー「BLUE MOMENT」インタビュー



Q キッチンカーを始めたきっかけは？（どちらが誘いましたか？）

A きっかけは長年看護師として働いていた母が、第2の人生として以前より興味のあったキッチンカーをやってみたいとスタート！それに賛同しもともと人と関わることが好きだった息子も仕事を辞め一緒に始めました。

Q どんな場所に出店していますか？

A 川島町役場や嵐山、坂戸、東松山、桶川、北本、ふじみ野など埼玉県を中心に動いています。公園やドッグラン、養護施設や介護施設にも良く呼ばれて行きます。

Q 一番人気のメニューは？



A タコライスです。長年沖縄に住んでおり、その時働いていた沖縄料理屋で教えてもらった味を守り、そして自分なりにアレンジした一品です。

Q おすすめのメニュー（ドリンク）は

A 飲むコーヒーゼリーです。手作りのコーヒーゼリーにキャラメルシロップと牛乳を入れています。甘すぎず苦すぎない、とても飲みやすいドリンクです。

Q やりがいを教えてください。

A イベントなどで来てくれたお客様が、遠方にも関わらず違う出店場所にも来てくれてリピーターになってくれたり、美味しかったと言ってくれた時にやりがいを感じます。

Q キッチンカーならではの印象に残るエピソードは？

A たまたま買ってくれたお客様が芸能関係の方で、タコライスがおいしかったとのことで歌手のAAAさんのMVの現場にケータリングを頼まれて、タコライスをみなさんに食べてもらったことです。とても緊張して手が震えていたこと、忘れません（笑）。それと出店先でたまたま「昼めし旅」の方が歩いてきて、そのまま撮影したこともありました。お笑い芸人のラパルフェの都留さんが当店のチーズベーコンサンドを食べて、我が家に夜ご飯を食べに来てくれたこともとても印象に残っています。



インタビューへのご協力ありがとうございました。

外来担当医師のご案内

2026年5月1日～

初診外来

初診症状、はじめての方、予約のない方の受診科になります。予約外の患者さんの受診科になります。

※女性医師

		月	火	水	木	金	土
総合内科	午前	高　野	大　山	杉　山	松　本	田　中	高　野
	午後	加　藤	野　本	大　貫	松　本	杉　山	長谷川

専門外来

以下の診療科は原則予約制となります。症状等によっては初診時より予約することもできますのでご相談下さい。また二次検診の場合は項目によっては専門の診療科へ案内いたします。

		月	火	水	木	金	土
内　科	午前	菅野龍彦	長谷川	杉　山	松　本	菅野龍彦	高野・菅野元
	午後	杉　山		大　貫	松　本		長谷川
循環器内科	午前	高　野	野　本	菅野龍	※高　野（10時半まで）		高　野
	午後		野　本			高　野	
消化器内科	午前		大山		※完全予約	大　山	
	午後		佐　藤		戸　嶋	菅　原	戸　嶋
呼吸器内科	午前	中　込		朱	河　村		
	午後			朱			河　村
糖尿病内科	午前	勝　盛	勝　盛	勝　盛	勝　盛	原	
	午後	勝　盛	勝　盛	勝　盛	勝　盛	原	
腎臓内科	午前		瀧　田		田　中	田　中	
	午後	末　吉	田　中	末　吉			
神経内科	午前		見　上				加　藤〇
	午後	加　藤〇			加　藤〇		
脳神経外科 リハビリテーション科	午前						
	午後	橋　出					
整形外科	午前			男澤（第1･3）	皆　川	飯　田	皆　川
	午後		山崎（第2･4）		皆　川	飯　田（15時半～）	皆　川
泌尿器科	午前			大　貫	伊藤（第1･3）		
	午後		大　貫		伊藤（第1･3）		黒　田
リウマチ 膠原病科	午前					三　村	
	午後						
外　科	午前						
	午後			小山（第1･3）			

※認知症・物忘れの診断、治療も行っております。　〇はリハビリテーション科併行

ご予約はお電話でもお受けいたします。（8：30～17：30）　休診等ございますので、お電話にてお問い合わせください。

	午　前	午　後
診療時間	9：00～12：00	13：30～17：00
受付時間	8：00～12：00	12：30～17：00

※初診は16：00まで

医療法人蒼龍会　武蔵嵐山病院
〒355-0077　埼玉県東松山上唐子1312-1
TEL 0493－81－7700